

(別紙)

副専攻プログラム説明書

設置専攻等〔機械知能システム学専攻（M専攻）〕

プログラム責任者〔M専攻教育委員〕

名 称	(和文) 先端ロボティクスプログラム
	(英文) Advanced Robotics Program
1. 概要・テーマ	
ロボットは、家庭、病院、工場、街、海洋、そして宇宙に至るまで普及し、社会生活の利便性を向上し、安全・安心を確保し、人類の活動領域を拡張し続けている。今後、インタフェース技術の高度化によってロボットと人間のさらなる調和を図り、知能化によってロボットの自律性を向上させることが重要となる。 先端ロボティクスプログラム副専攻では、機械工学・電子工学・情報工学の基礎力を習得し、こうした新規技術を開発・研究できる技術者を育成する。	
2. 到達目標	
ロボティクスに必要な基礎知識と技術を身につけること。	
3. 履修要件、受入に係る条件等	
機械知能システム学専攻（主専攻）以外に所属している学生を対象とする。	
4. 開講科目	
機械知能システム学専攻先端ロボティクスプログラム（主専攻）の専門科目Ⅰ・Ⅱから自由に選択可能。次項の修了条件を参照のこと。	
5. 修了要件	
以下の2つの条件をともに満たすこと。 ● 機械知能システム学専攻先端ロボティクスプログラム（主専攻）の大学院専門教育科目「専門科目Ⅰ」と「専門科目Ⅱ（A, B 問わず）」から、合計6単位（3科目）以上を取得していること。 ● 上記取得単位に、機械知能システム学専攻先端ロボティクスプログラム（主専攻）の大学院専門教育科目「専門科目Ⅱ（A）」が合計4単位（2科目）以上含まれていること。	
6. 注 意 点	
特になし。	